

プログラム修了者より受講を考えておられる方にメッセージ：「早稲田公共政策カレッジ」

<2025 年度 修了者>

- もし受講を迷っている場合、少しでも受けてみたいと思える要素があるなら、まずは受けてみてはどうかと思います。仕事をしながらこのプログラムをこなすのは決して簡単なことではないと思いますが、その分知識や経験だけでなく、人とのつながりなど得られるものは予想している以上のものだと思います。きっと受講を終えた時には心から参加してよかったと思える瞬間が訪れるはずです。
- ご自身のお仕事と日本の行政課題について問題意識を持っている行政職の方、公共分野でビジネスをする中でより良い官民連携の在り方を模索する方、日々の生活の中の解決したい困りごとに対して行政はどの様に取り組んでいるのか知りたい市民の立場の方、様々なお立場の方の知りたい・考えたい・語り合いたい・一緒に何かを作りたいと言ったニーズに応えて下さる素晴らしいカリキュラムです。ぜひ、ご受講をご検討下さい。
- 当初は受講期間の長さや誰も知らないところに飛び込むことに大きな不安がありましたが、専門性の高い先生方の講座により、これまで経験則で実践してきたことに確証を持てたり、新たな気付きを得られたりすることができました。また、学ぶ意識やコミュニケーション能力が高い他の参加者の皆様から多くの刺激をいただけたこと、今後につながる関係性を構築できたことはかけがえのないものとなりました。この経験を多くの方に得て欲しいと思うとともに、いつの日か意見交換できる日を楽しみにしています。
- これまでの経験等から得た知識を理論で整理して思考フレームを構築し直すことができます。能動的な参加が必要で、時に仕事との両立で困難を感じることもあるかもしれませんが、確実に得るものがあり、自身の業務を超えた社会課題に対する新たな見方・考え方を得られます。
- 公共政策を題材に官民の人材交流や越境学習にもつながる貴重な講座です。笑いあり、苦勞ありの4か月を満喫してください。いつか早稲田公共政策カレッジ修了生ネットワークでお会いできる時を楽しみにしています。
- 様々な年代や職業の方々と同級生として過ごす時間が毎週とても楽しみでした。公共政策カレッジは日本の今とこれからのかたちを知る場であり、未来を語れる場でもありました。
- 事前の知識が少なくても、講座は体系立てられていることから、十分についていくことが出来ます。安心してお申し込みください。
- 公務員として知っておかなければならない内容から、知っていれば必ず役に立つ発展的な内容まで、これから公務員として働き政策形成を行ううえで知っておくべき項目が網羅されており、どの講義も面白いため、ぜひ受講してほしい。
- 行政を学びたい、仕事の質を高めたい方には、「夢のオールスターゲーム」。これだけ多様な一流の方々が同一講座でお話いただける講座は唯一無二ではないかと思います。ぜひ受講をお勧めします。
- 公共政策学を知らない初心者の方でも、楽しく学ぶことができるカリキュラムとなっています。自分たちの生活から切り離すことができない「自治体」への距離感がぐっと縮まる貴重な機会です。民間企業で働くビジネスパーソンにとっても直接業務へ活かせる知識や学びが沢山あります。運営体制が整っており、社会人として仕事と勉強の両立が不安な方でも安心して通い続けることができます。豪華な講師陣から、日頃伺うことができない貴重なお話を伺うことができます。
- 新たな学び、出会いを通して、これからの人生を豊かなものにできるきっかけになるかと思います。迷っているのであれば、ぜひ挑戦してみてください。私は民間企業に務めていますが、公共政策は身近なところにも沢山あって、一市民として講義を実感しながら参加できました。
- 過度な負荷がかかるわけではなく、平均して週に1～2時間程度どこか時間を割くことで対応することができると思い

ます。また、社内の公共営業の方などに欠けている視点及び人脈が絶対に得られる機会です。自然に産官学の連携が個人レベルで進み、ご自身のキャリアの幅が広がるきっかけになる講座です。

- 現行政職員はもちろんであるが、普段行政と仕事をしている民間の方に受けて欲しいと思います。行政と民間の仕事は、どうしても仕事の仕方が異なるので、些末な流れも含めて、学びはもとより共有できる場として活用するのがいいと思います。
- 地方議員が全国の自治体職員や地方自治や公共政策に関心を持っている方と一緒に学び、議論できる場は、私が知る限り、ほとんどないと言ってよいと思います。そういう意味で、早稲田大学が自信をもって作成したカリキュラムで学び、仲間たちと研鑽することができる最高のプログラムであると言ってよいと思います。
- 民間企業の方にも「行政組織の仕組みや考え方」が理解できるのでとても勉強になりお勧めです。
- 迷う事はないですよ。きっと素晴らしい経験ができることでしょう
- 本プログラムは、「公共政策」を行政職に限られた専門領域とせず、民間や地域で実践する立場の人々にも広く開かれた学びの場です。特に、「なぜこの課題は解決されないのか？」という現場での違和感を抱えている方にとって、その背景にある構造や制度の論理を可視化し、自らの言葉で構想を描けるようになる、かけがえのない機会になるはずです。知識の習得にとどまらず、「自分が当事者として社会に対して何を提案できるか」を問われる構成となっており、学びが深く血肉化していく実感があります。実際、第一期生の皆さんはリスクリングに対する意識が高く、各講義には常に良い意味での緊張感が漂っていました。グループワークや事前課題も多く、仕事との両立は決して容易ではありませんでしたが、それでも明確な志と目的意識を持って臨めば、確実に実りある時間となると確信しています。迷っている方がいれば、ぜひ勇気を持って一步を踏み出してみてください。社会を見る目も、自分のあり方も、確実に変わります。
- 「井の中の蛙、大海を知らず、されど天の高さを知る」限られた世界の中でも、空を見上げることはできる。けれど、もし大海を知ったなら、その空の広さも、意味も、変わって見えるはずです。このプログラムは、自分の思考の枠をひとつひとつ壊しながら、世界と向き合う視座を高めてくれる場。知ることは、変わること。変わることは、動かす力になる。自分の中にある“天”を、より高く、より深く見つめたい方へ。

以上